別紙2

事業所名：グループホームもも太郎さん喜多方
作成日：　平成　22

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆にも目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

目標達成計画					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34 35	事故発生時や災害時での対応が迅速にできるように、さらに対応を強化していきます。	勉強会ならびに訓練の実施を行なう。	職員の勉強会はもちろんのこと、地域住民の方や消防署等など関係機関の方の協力を得ながら、万全な体制作りに取り組んでいきます。	6ヶ月
2	11	ビジネスマナーの強化ならびに職員の支援内容の向上に努めていきます。	利用者に対して、職員全員が統一した支援ができるようにするとともに、支援をさしあげる中で、挨拶・言葉遣い・マナーなどの向上に努めます。	施設独自のビジネスマナーの資料を作成し、遵守するようにする。また、支援内容の向上については、講師を依頼しての勉強会を実施したり、外部の研修に参加するなど、向上に努めていきます。	6ヶ月
3	23	センター方式を学習し、利用者の暮らしの希望、意向について、さらなる把握に努めていきます。	利用者様のさらなる状態の把握に努めるということで、センター方式を学習し、導入していきます。	センター方式の勉強会を実施するとともに、様式を作成して、状態の把握に努め、計画作成書まで反映できるように取り組んでいきます。	6ヶ月
4					

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入記入して下さい。項目が足りない場合は、行を挿入して下さい。